

令和6年度 学校評議員による学校評価 結果

秋田県立秋田きらり支援学校

(4 : よい 3 : だいたいよい 2 : もう少し 1 : 不十分)

1 学校経営案 今年度の重点

No.	項目及び指標	評価
1	防災や感染症対策、医療的ケア等、安全・安心な教育環境の整備に取り組んでいる。 【指標】予防対策、個別対応、家庭や病院との連携、危機管理 等 [自由記述] - 令和6年度の感染症対策から手厚く対策を実施されていることがうかがえた。一方、世間はかなりガードが下がっている状況なので、引き続き感染症対策に取り組む必要性を感じた。 - 感染症対策や医療的ケア児への対応など、校内における危機管理体制がきちんと整備されているように思う。 - 児童生徒の下校時や休日の避難対策などの把握もご検討いただければと思う。	4. 0
2	カリキュラム・マネジメントの推進と児童生徒主体の授業づくりに取り組んでいる。 【指標】教育計画、カリキュラムマネジメント、ICT、専門性 等 [自由記述] - 授業参観を通して、この重点が十分に機能していると感じた。 - 生徒の状況に応じて、楽しく主体的に勉強してもらうための仕組み作りに注力している。生徒の教育計画、育成計画においては、何をゴールに進めていくかを保護者としっかりと共有し、合意の上で進めることが望ましいと考える。 - 対象児童生徒に応じた教育課程の見直しや、ICT等の活用による指導・支援の充実に向けた取組に期待している。	3. 8
3	キャリア教育の充実と生涯学習につながる資質の育成に取り組んでいる。 【指標】関係機関連携、自己決定、自己評価、変容、記録 等 [自由記述] - 卒業後の豊かな生活や生涯学習の充実を見据えた取組として、生徒のニーズに応じたクラブ活動の在り方や関係機関等との連携などについて一層の推進を期待する。 - 同窓会活動とシームレスにつながっていけることを期待している。 - 卒業して終わりではなく、卒業後も活動できる機会があることは非常に良い取り組みと感じた。一方、在宅医療等で外に出るのが難しい状況がある卒業生との交流を、どのようにしてやっていくのか、接点をいかにして増やすのかは課題である。	3. 5
4	病弱教育サポートセンターを含むセンター的機能の拡充に取り組んでいる。 【指標】学習支援、相談、研修、情報発信、関係機関連携 等 [自由記述] - 生徒に対する医療サポートでは、関係機関と緊密に連携し、生徒にとってより良い環境を作るよう積極的に活動していると感じた。 - 病弱教育のセンターとして、県内の他の支援学校と連携しながら、支援の必要な子どもへの対応に努めてほしいと思う。 - 秋田モデルを構築してくれた。大学病院との連携を更に進めるとともに、地元校への更なる意識醸成に期待している。	3. 8

2 その他

No.	学 校 関 係 者 評 価 項 目 及 び 指 標	評価
5	学校運営目標を具現化するための運営組織が機能している。 【指標】学部・分掌の計画、実践・評価サイクル、チーム力	3. 8
6	保護者と連携して教育活動やPTA活動を行っている。 【指標】PTA活動計画、個別面談、学級通信、HP、信頼関係 等	3. 8
7	関係機関と連携し、地域に開かれた学校づくりを行っている。 【指標】専門性の発信、医療療育センターとの連携、広報活動	3. 5
8	職員の勤務態度が児童生徒の手本となっている。 【指標】挨拶・返事、服装、児童生徒との対応・授業の様子	3. 8

3 学校に対する御意見、御提言等がありましたら、御記入をお願いします。

- ・県内における肢体不自由及び病弱教育の専門校として、関係する他機関との連携を図りながら、自校の教育の充実と、校外のニーズに応じた支援にその役割を発揮されることを期待してる。
- ・災害時には、職員、生徒、保護者の安否確認をしっかりと行った上で、きりり支援学校の役割（医療サポート、生徒のケア、避難場所等）に期待したい。
- ・職員、先生方の抱える問題等を見過ごさず、組織として解決する体制を望む。